

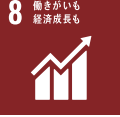
日本鑄造の経営の重要課題に対するKPI※

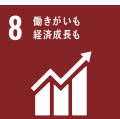
— 2026年度の目標 —

※ KPI(Key Performance Indicator)・・・重要業績指標

地球環境を守っていくための事業活動を絶え間なく行い、会社の環境価値を向上させていきます。			
課題の分野	重要課題	2026年度の目標・KPI	実施項目
気候変動問題への貢献 7 エネルギーをみんなに そしてグリーンに  12 つくる責任 つかう責任  13 気候変動に 具体的な対策を  14 海の豊かさを まもり 	環境の保全	ISO14001 マネジメントシステムの継続的改善	2026年度更新審査受審・継続する
		環境トラブルゼロを継続	水質・大気の排出基準100%遵守を継続する
		神奈川県の皆様への環境・防災活動の貢献	神奈川県グリーンボンド債の満期まで保有する
		グリーン調達方針をアピール	HPにて皆様に開示しお知らせする
	地球温暖化防止	CO ₂ 削減継続による気候変動抑止活動への貢献	川崎工場の完全カーボンニュートラルを達成する
			車両のEV化をさらに拡大するフォークリフト電動化54%⇒62%)
			工場内電力使用量低減によるCO ₂ 削減を行う(エネルギー見える化システムによるフォロー)
		カーボンニュートラル製品の販売	GreenCastings®の販売を拡大する
	廃棄物削減	産業廃棄物削減による環境保全への貢献	ダスト・スラグ・切断滓の削減、産廃ゼロ化に向けた取り組みを進める
			ペーパーレス化のさらなる推進を行う(対2024年度▽60%削減の継続的達成と次年度削減に向けたアイデア創出)
			製品延命化し廃棄物削減へ貢献する

社員全員が安全で健康的に働ける職場づくりに取り組み、ご家族の皆様とともに安心して生活できる環境を実現していきます。			
課題の分野	重要課題	2026年度の目標・KPI	実施項目
労働安全衛生の確保 3 すべての人に 健康と福祉を  12 つくる責任 つかう責任 	労働災害の防止	全社重大災害ゼロの達成継続	クレーンの吊荷で怪我をしない作業の改善を行う(2026年度:重要2作業のノータッチ化実施)
			人と重機の作業場所を分けて、怪我を防ぐ(フォークリフトと人の隔離した職場の拡大)
			作業員の心と体の健康管理を職場全体で支援する体制を継続しレベルアップする
			工事中の転落・挟まれ・火傷等の怪我を防止する仕組みを作る
	防災活動および 事故の防止	重大事故の発生ゼロの達成継続	危険物を適切に置場に保存し、火災等を防止する (規定の数量以下で保管されているか、3か月毎に現場をパトロールする)
			地震・津波・台風・豪雨時の挟まれや突沸による災害を防止できる対策をレベルアップする (2026年度:ゲリラ豪雨時の落水防止工事の実施)
			大規模地震・火災を想定し社員が怪我無く避難できる防災訓練を行う

年齢や性別、国籍や障害の有無に関わらず、従業員全員が能力を最大限発揮できる環境をつくり、仕事と私生活の調和を図りながら専門知識や技能が着実にレベルアップしていけるようにします。			
課題の分野	重要課題	2026年度の目標・KPI	実施項目
多様な人材の確保と育成 4 質の高い教育を みんなに  5 ジェンダー平等を 実現しよう  8 働きがいも 経済成長も  10 人や国の不平等 をなくそう 	ダイバーシティ& インクルージョン	女性社員の社員比率10%以上	ライフステージの変化に対応した働きやすい職場の環境を作る 工場内表示、作業手順の外国語表記を拡大し、技能実習生が作業を習得しやすい環境を作る 中途経験者への社内ルーツの整備・可視化を行い、働きやすい環境を整える
		女性役員比率15%以上	
		外国人人材の社員比率5.0%以上	
		法定障がい者雇用率(2.5%)の遵守	
	人材育成の推進	個人毎評価制度の拡大	部門目標を個人毎の具体的な目標に置きなおし、達成に向けた支援と適切な評価を行う
		階層別教育の着実な実施	経験年数に応じた的確なレベルアップ教育を行い、従業員の専門知識の拡充、リスキリング教育を支援する
	働きがいのある 職場の実現	年休取得率70%の維持	所定外労働時間の削減、作業員の負荷を定期的に確認し偏在を解消する
		社員の職場への意見の把握	目安箱の反映と、社員意識調査の定期的な実施(10月)を継続する

お取引先を通じて、皆様の生活をより豊かに変えていく付加価値の高い商品をご提供していきます。			
課題の分野	重要課題	2026年度の目標・KPI	実施項目
高付加価値商品・サービスの提供 8 働きがいも 経済成長も  9 産業と技術革新の 基盤をつくろう  12 つくる責任 つかう責任  16 平和と公正を すべての人に 	商品安定供給	販売環境に応じた速やかな生産工程の適正化	作業者の工場内の歩行軌跡を解析し、長距離移動を低減できる作業場のレイアウトを変更する (製造品が変化しても、生産性10%アップを安定継続)
			OEMを活用し柔軟に対応できる業界再構築を進める
			生産工程の選択と集中を常に追求する
			暑熱負荷を低減するレイアウト見直しを行う
	品質確保	品質トラブルの削減	品質コスト売上高比率0.1%以下を達成する
			苦情件数を91件/年以下とする
			研磨定盤・半導体部品の苦情件数割合0.25%以下を達成する
			材料試験合格率 川崎工場99%、福山工場98%以上を達成する
			作り直し件数を川崎工場10件、福山工場3件/年以下とする
			連携不足(図面・要領書の不備等)による苦情を撲滅する(エンジ・建材部門0件/年)
			製造指示書を製造現場へ確実に伝達する
		出荷システムの運用確立	お客様との契約通りの合否判定を確実に行う
		ISO9001に即した品質活動の推進	外注業者の監査体制の監査を継続する
			QA教育を継続する
	技術開発の推進	生産性改善	ロボットの導入範囲を仕上げ加工まで拡大する
			支承補強ブロックのラインナップを拡充させる
	お客様ニーズへの 対応	リードタイム短縮	各種自動化システムの立ち上げと早期戦力化(営業・生産計画・出荷・人事)

社員一人一人が法律やルールを正しく理解し適切に行動できるようにし、不正や事故を防ぎ、安心して暮らせる社会づくりに貢献していきます。			
課題の分野	重要課題	2026年度の目標・KPI	実施項目
コンプライアンスの徹底 4 質の高い教育を みんなに  17 パートナーシップで 目標を達成しよう 	企業倫理の徹底と 法令遵守	内部統制教育の実施 年1回以上	社長からのメッセージや階層別教育を通じて、ルール順守の重要性を社員全員に伝達する
		人権研修の継続 年1回	ハラスメントのない働きやすい環境づくりのため、全社員対象への研修を継続実施する
			取引先とともに社会的責任を果たすため、CSR調達ガイドラインに基づいた取り組みを継続する
			パートナーシップ宣言に基づき、協力会社、取引先との健全で公平な関係が維持されていることを確認する